



2026 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 日本精蠟株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長
社長執行役員 瀧本 丈平
(コード番号 5010 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役
常務執行役員 伊藤 宜広
(TEL 03-3538-3061)

減損損失の計上に関するお知らせ

当社は、2026 年 12 月期において減損損失を計上しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上(当中間連結会計期間 218 百万円)

事業モデル転換(脱重油とワックス大量生産ビジネスモデルからの脱却)として、主たる原料を LSWR などの蒸留用原料から国内外のワックス収率が高いスラックワックスなどへ変更したことに伴い、小ロットの原料購入が増え、大容量の貯蔵タンクの稼働が低下するケースが増えました。このため他社へのタンク賃貸などの有効活用を検討していましたが、当第 2 四半期において一部のタンクは採算性を確保できる見通しが立たないことが判明しました。

これに伴い、将来使用する見込みがなく、今後解体予定とした貯蔵タンクについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失 213 百万円として特別損失に計上しました。

なお、当該資産の回収可能価額は、他への転用や売却が困難であることから、備忘価額により評価しています。

また、社宅の売却を行うことになったため、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失 4 百万円として特別損失に計上しました。

2. 業績に与える影響

上記の減損損失の計上につきましては、本日公表した「2026 年 12 月期第 2 四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しています。

以上